

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	06022-1	一般事業(林業振興事業)	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	03:農林業の振興	務	款 農林水産業費
施策体系	施策の方向	04:林業経営の安定化	科	項 農林水産業費
	戦略プロジェクト		目	目 林業振興費

② 目的・概要	対象	市民、森林林業事業体、鈴鹿川魚業組合
	目的	林業の技術、知識の普及を行い、林業技術の向上、林業の振興及び活性化を図るとともに森林の有する多様な機能の持続的発揮を図る。
概要		林業の技術の向上、振興や森林の公益的機能の向上に資するため、林業振興団体に支援する。また、各種事業や活動に協力することにより、森林の有する多様な機能に繋げる。

			27年度	28年度
①	名称	参加人数	計画値	
	補足	海と森林を結ぶ交流事業	実績値	69
			単位	人
②	名称	参加人数	計画値	
	補足	みつまた植樹・みつまたウォーキング事業	実績値	250
			単位	人
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					○林業振興関係団体に対し負担金、補助金を交付 ・三重県林業技術普及協会(負担金) ・鈴鹿森林組合(補助金) ・亀山市林業研究会(補助金) ○林業振興調査業務委託 ○森林GIS保守業務委託 ○森林組合が主催する「海と森林を結ぶ交流事業」に協力。 亀山森林公園で開催(広葉樹の植樹、森林講話)69人参加 ○みつまたを愛する会活動に協力。 みつまた植樹開催(参加者150人、450本植樹) みつまたウォーキング開催(参加者100人)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	
	国庫支出金					一般職員人件費 ②	758	平均給与額×③
	県支出金					所要人員 ③	0.10	
	地方債					臨時職員人件費 ④		
	その他		3	3		⑤		
	一般財源		2,139	2,123		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	758			
	総コスト		⑥	2,884				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	林業振興団体により、林業活性化を図る事業により、森林所有者や子どもたちに対し、森林整備の必要性や関心が高まった。 「海と森林を結ぶ交流事業」に協力し、海側の鈴鹿市と山側の亀山市が交流し、海と山が密接な関係であることを理解し合い、また、力を合わせて森林の持つ公益的機能の向上に繋がった。 「みつまたを愛する会」が実施する「みつまたの森創造事業」に協力し、「みつまた」による森の整備が進んだ。	総合判定	B
	【反省点・課題】	林業振興団体による森林所有者や子どもたちへ、森林整備の必要性や森林への関心を高める活動は重要であり、このような活動を継続していく必要がある。		まずまず進んだ
	【改善の方向性】	今後も、林業関係団体の主体的な取組みが積極的に促進されるよう、連携を図りながら引き続き支援していく。 また、引き続き「海と森林を結ぶ交流事業」や「みつまたの森創造事業」に協力し、市民の参加を促し、森林整備の必要性や関心を高めていく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博	